レジメン名

Ibrutinib+Rituximab

出典 イムブルピカ適正使用ガイド 2023年8月作成
J Eng J Med.2018;378(25):2399-410.

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

原発性マクログロブリン血症

進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

投与減量の基準

イムブルピカ	
その他	Grade3以上の副作用発現時、下記の様に減量 1回目420mg→2回目280mg→3回目140mg →4回目中止

投与中止の基準

イムブルピカ			
ANC	1000/mm ³ 未満	PLT	5万/mm ³ 未満
Cr	男性:3.24mg/dL、女性:2.4mg/dL超		
Hb	8g/dL未満		
AST,ALT	200IU/Lを超	T-bil	3.6mg/dLを超
その他	因果関係が否定できないGrade3以上の毒性		
リツキシマブ			
その他	リツキシマブに起因するGrade4の毒性又は管理不能なGrade3の非血液毒性		

1クール期間 28日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

※リツキシマブは計8回

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
リツキシマブ	375mg/m ²	輸液 1-4mg/mLに 希釈	初回は 50mg/hr から漸増※1	d1、8、15、22 (1クール目、5クール目)※2
※2 リツキシマブは1~4週目及び17~20週目の1日目(day1、8、15、22、112、120、127、134)に投与				
イブルチニブ(イムブルピカ)	420mg※3	経口		連日
※1 初回リツキシマブの投与速度は50mg/hrで開始し、問題なければ30分毎に50mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 2回目以降、速度を選択することができる。 ①初回投与時に副作用が軽微であった場合、2回目以降は100mg/hrで開始し、30分毎に100mg/hrずつ上げて、400mg/hrまで上げることができる。 ②臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/mm ³ 未満である場合、90分間で投与(最初の30分で投与量の20%を投与し、その後60分で投与量の80%を投与)することができる。				
※3 ポリコナゾール併用時は140mgを1日1回とする。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1、8、15、22(1クール目、5クール目)※2 ①アセリオ(1000)500mg+ボララミン5mg(15-30min) ②リツキシマブ375mg/m ² +生食適量(50mg/hrから漸増※1) ③生食50mL(フラッシュ用)
連日内服(全クール) イムブルピカ 420mg※3 分1